

# おめでとう

千葉市之助さんが百寿を迎える



100歳の誕生日を迎え、高橋町長から祝福を受ける千葉さん

# 100歳

千葉市之助さん（5区）が1月30日、満100歳の誕生日を迎え、高橋町長が記念品と花束を贈り長寿を祝いました。町長が「100歳おめでとう。これからも長生きしてください」と声を掛けると、「ありがとうございます」と笑顔で感謝していました。千葉さんは明治42年生まれ。マサエさんと結婚し、子ども3人を育てました。孫は5人、ひ孫は11人います。農業を営んできた千葉さんはとてもきちょうめん。規則正しい生活を送り、身の回りのことは自分で行います。楽しみにしている毎日の晩酌も、電子レンジを使い自分好みの温度に温めて飲んでいきます。町内の満100歳到達は、千葉さんを含めて4人となりました。

# 学び合う 素晴らしさを知る

## 20年度「生涯学習市民のつどい」

町教育委員会が主催する20年度生涯学習市民のつどいが2月22日、平泉小学校で開かれました。約600人が参加。教育委員会表彰や生涯学習体験発表などが行われたのに引き続き、お魚ナビゲーターとして活躍中のさかなクンによる講演会が開かれました。



教育委員会表彰状を手渡される岩淵希穂さん(右)

### 教育委員会表彰

- 千葉電馬さん（平泉中3年）
- 県中学校文化連盟ポスターコンクールで最優秀賞
- 岩淵希穂さん（平泉中3年）
- 読売新聞社主催の第58回全国小・中学校作文コンクール県審査中学校の部で最優秀賞
- 佐藤二郎さん（11区）
- 第29回全日本マスターズ陸上競技選手権大会やり投げ（M65）

- の部）3位。還暦400メートルリレー（岩手選抜）3位
- 小野寺祐一さん（7区）
- 第8回全国障がい者スポーツ大会ソフトボール投げ（区分4）2位。砲丸投げ（同）2位

- ふるさとオリンピア'08表彰
- ▽優 勝12区 得点605点
- ▽準優勝13区 得点590点
- ▽第3位11区 得点510点（12ページに関係記事）

### 生涯学習体験発表

生涯学習体験発表では、教育振興運動モデル地区の瀬原子ども会・佐々木幸さん（1区）が夏、冬休み行事の親子旅行、勉

## 春の藤原まつり情報

源義経公役に 俳優の **五十嵐隼士** さん



5月3日に行われる春の藤原まつり「源義経公東下り行列」の源義経公役に、俳優の五十嵐隼士さん（22歳）＝ワタナベエンターテインメント所属＝が扮することが決まりました。五十嵐さんは長野県出身。テレビドラマや映画、舞台などで活躍し、CBC系で平成18年に放送された「ウルトラマンメビウス」で主役を務めたほか、TBS系で20年放送の「ROOKIES（ルーキーズ）」など多数の番組に出演しています。生年月日/昭和61年8月7日 身長/176㌢



教育振興運動の取り組みを発表する佐々木さん

### 生涯学習講演会

東京海洋大学客員准教授でお魚らいつ・コーディネートターのさかなクンが「さかなクンと環境のこと考えよう」と題して講演しました。サンマやカツオなど魚の生態をクイズ形式で紹介しながら「山の自然が川を通して海へ栄養を運ぶ。魚をはぐくんでくれる岩手の自然を守っていきましょう」と呼び掛けました。



魚の生態を紹介するさかなクン(右)

# 平泉を掘る

## 発掘最前線⑦

— 2条の堀跡に時期の差(柳之御所遺跡第69次調査) —

な問題を示すことになると思われます。今回の調査では、それぞれの堀跡が12世紀のどの段階に位置づけられるのか、遺構からだけでは判断できませんでしたが、堀跡から出土したかわらけなどの遺物を整理し、検討を進めていきたいと考えています。

県教育委員会生涯学習文化課 岩淵計



柳之御所遺跡第69次発掘調査現場

本年度の柳之御所遺跡の調査は、これまでに発見されている2条の堀跡の時期や構造を確認することを目的として行いました。この内堀、外堀と呼んでいる堀跡は、遺跡の中枢部分を長さ500㍍にわたって囲み、遺跡の特徴を最もよく表している遺構の一つです。

今回の調査によって、内堀と外堀は造られた時期に違いがあり、外堀よりも内堀の方が新しいということが分かりました。これにより、柳之御所遺跡の堀については、2条の堀が同時に存在した二重の堀ではないかという考え方がありましたが、別々に存在した一重の堀であった可能性が高まりました。また、堀跡の規模についても、内堀が最大幅で14.5㍍、深さが3.5㍍以上あるのに対し、外堀は幅が最大で7㍍、深さが2㍍で、内堀の約半分の規模であることが判明しました。

このように2条の堀跡の時期、規模に違いがあるということは、柳之御所遺跡の特色を考える上で、重要

## 宝くじ助成事業で軽可搬ポンプを配備しました

女性消防隊による安全で災害に強い地域づくり推進事業

町ではこのほど、(財)日本消防協会が行う「女性消防隊による安全で災害に強い地域づくり推進事業」の助成を受けて、軽可搬ポンプ式、防寒用ジャンパーを整備しました。

この事業は、同協会が(財)自治総合センターから受け入れる助成金を財源として、女性消防隊の育成強化を図るための助成を行い、安全で災害に強い地域づくりを推進するとともに、宝くじの普及宣伝を図ることを目的として行われているものです。



軽可搬ポンプが配備された第3分隊と第3分団 婦人消防協力隊に整備した防寒用ジャンパー